

INON

INON 外部オート非対応・-0.5 白拡散板 2

INON 外部オート非対応・-0.5 青拡散板 2

INON製品のお買い上げ有難う御座います。

弊社ストロボ「Z-240」/「D-2000W」/「D-2000Wn」/「D-2000」/「D-2000S」/「Z-220F」/「Z-220S」/「Z-220」に装着可能な拡散板です。S-TTL 自動調光モード、TTL 自動調光モード、マニュアル+TTL 自動調光モード、マニュアルモードにて使用可能です。

本拡散板は、「Z-240」、「D-2000W」、「D-2000Wn」、「D-2000」、「D-2000S」、「Z-220F」、「Z-220S」、及び「Z-220」専用オプションとなります。「D-180」、及び「D-180S」ではご使用頂けません。また、**本製品を取り付けた「Z-240」、「D-2000W」、「D-2000Wn」、「D-2000」では、外部自動調光モードを使用する事は出来ません。**「Z-240」、「D-2000W」、「D-2000Wn」、「D-2000」で外部自動調光を使用する場合には、別製品である「『外部オート対応』拡散板」シリーズをご利用下さい。

製品の主な特徴

- 装着する事で、照射角が広がると同時に(円形配光 100° →110°)、光質をソフトにする事が可能です。
- 主にキヤノン社製デジタルカメラシステムで起こる、赤黄色への色調の偏りを補正/緩和する“『青』拡散板”を選択可能(標準の“『白』拡散板”とは別製品となります)。
- フライアリス構造で、ストロボ内蔵フォーカライトの照射範囲を効率よく広げる『W40° フィルター・LE』、および、ストロボ内蔵フォーカライトの色調を変換して、光に繊細な生物へのアプローチを容易にする『赤フィルター・LE』を同梱。用途に応じて、自由に切り替え可能です。

- 製品内訳
- ・ 外部オート非対応・-0.5[白 or 青]拡散板 2 本体
(右図は[白]拡散板 2) ① ×1
 - ・ W40° フィルター・LE ② ×1
 - ・ 赤フィルター・LE ③ ×1
 - ・ 使用説明書(本書) ×1
 - ・ 各フィルター使用説明書 ×1

- 対応ストロボ
- ・ INON Z-240、D-2000W、D-2000Wn、D-2000、D-2000S、Z-220F、Z-220S、Z-220
(2009年7月現在)

- 対応調光方式
- ・ S-TTL 自動調光、TTL 自動調光、マニュアル+TTL 自動調光、マニュアル調光
(外部自動調光モードにて使用する事は出来ません)

- 対応カメラシステム
- ・ **『青』拡散板:**
特定のメーカー製のデジタルカメラシステム(特に、キヤノン社製デジタルカメラシステム)にて、得られる画像の色調が『赤黄』味を帯び、そのままでは自然な色調を得られない場合
 - ・ **『白』拡散板:**
上記以外のデジタルカメラシステム、あるいは、特定のメーカー製のデジタルカメラシステム(特に、キヤノン社製デジタルカメラシステム)を使用した場合でも、得られる画像の色調が問題ない場合

- 取り付け前の準備
- ・ **『W40° フィルター』/『赤フィルター・LE』を取り付ける [使用する場合のみ]**
被写体や撮影時のシチュエーション、使用するカメラシステム、及びストロボの自動調光モード等によって、同梱の『W40° フィルター・LE』、あるいは『赤フィルター・LE』を、“拡散板 2 本体”へ取り付けます。詳細等は、各フィルター使用説明書をご確認下さい。

- 取り付け方法
- ・ ストロボ正面の“INON”ロゴ方向と、拡散板 2 本体の“INON”ロゴ方向とを合わせ、止めネジを締めて固定します。強く締め過ぎると、“拡散板 2 本体”、あるいはストロボ側の取付ネジ部が破損する可能性がありますので、ご注意ください。
“拡散板 2 本体”がストロボ前面の“ゴムカバー”部『溝』から浮き上がらず、正しい位置に固定されている事をご確認下さい。



使用上の注意

マニュアル調光でご使用の場合

本製品を取り付けた場合、本製品を透過した実際の発光量は、ストロボ側“メインモードスイッチ”/“EV.コントロールスイッチ”[Z-240、D-2000W、D-2000Wn、D-2000、D-2000Sの場合]、あるいは“モードスイッチ”[Z-220F、Z-220S、Z-220の場合]にてセットした発光量より、-1/2EV.分(-0.5段分)弱くなります[-1/2EV.分(-0.5段分)暗い画像が得られます]。

Z-240の“メインモードスイッチ”/“EV.コントロールスイッチ”の各スイッチポジションに対する、実際の発光量は、凡そ右記の通りとなります([※]:陸上/ISO100・m)。

メインモードスイッチ ポジション	EV.コントロールスイッチ ポジション	本製品装着時の ガイドナンバー [陸上/ISO100・m]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.24[※])に対する発光量 [EV.]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.24[※])に対する発光量 [絶対量]
FULL	(任意のポジション)	約 21	-0.5 EV.	約 1/1.4
M^{0.5}▼	11 (-0.5)	約 17	-1.0 EV.	約 1/2.0
-	-	約 14	-1.5 EV.	約 1/2.8
8	8	約 12	-2.0 EV.	約 1/4.0
-	-	約 10	-2.5 EV.	約 1/5.7
5.6	5.6	約 8.5	-3.0 EV.	約 1/8.0
-	-	約 7.1	-3.5 EV.	約 1/11
4	4	約 6.0	-4.0 EV.	約 1/16
-	-	約 5.0	-4.5 EV.	約 1/23
2.8	2.8	約 4.2	-5.0 EV.	約 1/32
-	-	約 3.6	-5.5 EV.	約 1/45
2	2	約 3.0	-6.0 EV.	約 1/64
-	(M-6)	約 2.5	-6.5 EV.	約 1/91

D-2000W、D-2000Wn、D-2000、D-2000Sの“メインモードスイッチ”/“EV.コントロールスイッチ”の各スイッチポジションに対する、実際の発光量は、凡そ右記の通りとなります([※]:陸上/ISO100・m)。

メインモードスイッチ ポジション	EV.コントロールスイッチ ポジション	本製品装着時の ガイドナンバー [陸上/ISO100・m]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.20[※])に対する発光量 [EV.]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.20[※])に対する発光量 [絶対量]
FULL	(任意のポジション)	約 17	-0.5 EV.	約 1/1.4
M^{0.5}▼	11 (-0.5)	約 14	-1.0 EV.	約 1/2.0
-	-	約 12	-1.5 EV.	約 1/2.8
8	8	約 10	-2.0 EV.	約 1/4.0
-	-	約 8.4	-2.5 EV.	約 1/5.7
5.6	5.6	約 7.1	-3.0 EV.	約 1/8.0
-	-	約 5.9	-3.5 EV.	約 1/11
4	4	約 5.0	-4.0 EV.	約 1/16
-	-	約 4.2	-4.5 EV.	約 1/23
2.8	2.8	約 3.5	-5.0 EV.	約 1/32
-	-	約 3.0	-5.5 EV.	約 1/45
2	2	約 2.5	-6.0 EV.	約 1/64
-	(M-6)	約 2.1	-6.5 EV.	約 1/91

Z-220F/Z-220S/Z-220の“モードスイッチ”のスイッチポジションに対する、実際の発光量は、凡そ右記の通りとなります([※]:陸上/ISO100・m)。

モードスイッチ ポジション	本製品装着時の ガイドナンバー [陸上/ISO100・m]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.22[※])に対する発光量 [EV.]	本製品無しでの FULL 発光時 (G.N.22[※])に対する発光量 [絶対量]
FULL	約 19	-0.5 EV.	約 1/1.4
-1/2	約 16	-1.0 EV.	約 1/2.0
-1	約 13	-1.5 EV.	約 1/2.8
-1^{1/2}	約 11	-2.0 EV.	約 1/4.0
-2	約 9.5	-2.5 EV.	約 1/5.7
-2^{1/2}	約 8.0	-3.0 EV.	約 1/8.0
-3	約 6.7	-3.5 EV.	約 1/11
-3^{1/2}	約 5.6	-4.0 EV.	約 1/16
-4	約 4.5	-4.5 EV.	約 1/23
-4^{1/2}	約 4.0	-5.0 EV.	約 1/32
-5	約 3.5	-5.5 EV.	約 1/45

その他、マニュアル調光時の注意点等につきましては、各ストロボ付属の使用説明書をご確認下さい。

S-TTL 調光 [Z-240、D-2000W、D-2000Wn、D-2000、D-2000S]、

TTL 調光 [Z-240、D-2000W、D-2000Wn、D-2000、D-2000S、Z-220、Z-220S]、

マニュアル+TTL 調光 [Z-240、D-2000W、D-2000Wn]でご使用の場合

本製品を取り付けた場合、S-TTL/TTL/マニュアル+TTL 自動調光可能な範囲は、本製品無しの場合に比べ、-1/2EV.分(-0.5段分)被写体側にシフトしますが、S-TTL/TTL/マニュアル+TTL 自動調光時に、本製品を透過した実際の発光量は、(各ストロボを単独で1灯使用し、さらに各ストロボの自動調光範囲内の発光を行う場合には)本製品を取り付けていない場合と変わりません。S-TTL/TTL/マニュアル+TTL自動調光、発光量補正、調光範囲の詳細につきましては、各ストロボ付属の使用説明書をご確認下さい。

メンテナンスについて

- ご使用後は、必ずストロボから取り外し、真水中(30℃以下)に数時間静置して塩分等をよく取り除いた後、エアガン等で水滴を吹き飛ばし、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい(完全乾燥には数日掛かります)。
- 「塩噛み」や「電蝕」による本製品とストロボとの固着を防ぐ為、下図の通り、ストロボ側の取り付け部を定期的にガラスアップして下さい。

